

野澤和廣さん 海外農業研修に参加しました

7月6日から16日まで、社団法人埼玉県農林公社主催の第31回埼玉県農業青年海外派遣研修が実施され、研修生の一員として野澤和廣さん（用土12区）が参加されました。

研修では、ドイツ、スイス、フランスの3カ国を巡り、GAP（農業生産工程管理）導入農家や有機認証機関などを訪問し先進的な環境保全型農業の考え方を学んだり、南フランスでは水稻栽培の視察や地元農業青年との意見交流会へ参加しました。

野澤さんは、「有機実践農家やその国際的認証機関を視察し、食物と環境に対する考え方について、ヨーロッパはかなり進歩していると実感でき、とても有意義な研修でした」と話してくれました。



社会を明るくする運動 PR活動が行われました

7月は、社会を明るくする運動の強調月間でした。深谷地区保護司会寄居支部は、7月7日に深谷市・川本地区保護司と合同でPRパレードを行いました。

当日は深谷市役所川本総合支所で出発式を行い、寄居警察署のパトロールカーを先導に深谷市の川本・花園地内および寄居町内をパレードし、犯罪や非行防止のPR活動を行いました。

また、巡回PRとして午前中に町内の学校訪問、午後は寄居地区更生保護女性会とともに町内大型店4カ所での街頭広報活動を行いました。



コミュニティ推進のために 塚田区で子どもみこしを購入

塚田区（大澤義秋区長）では、財団法人自治総合センターが実施している平成22年度宝くじ助成を受けて、7月に子どもみこしや曳き車等を購入しました。

子どもみこしや曳き車等は、コミュニティの輪を広げることを目的に購入したものです。7月25日に行われた夏祭りで、新しいみこしの担ぎ初めが行われました。祭りに参加した子どもたちは、「みこしは、見た目より重いと感じました」、「新しい半てんを着ることができてうれしかったです」などと話してくれました。



『男女共同参画コーナー』を 開設しました！

本年4月から始まった『寄居町男女共同参画推進プラン2010』の事業計画に基づき、パンフレットスタンドを購入し、国・県等の情報を積極的に町民の皆さんに提供していくための発信源として庁舎1階のロビーと4階の通路に「男女共同参画コーナー」を開設しました。

男女共同参画に関する講演会や働きたい女性のための研修会などの情報を提供していきますので、ぜひご覧ください。



県決勝大会出場！ 用土JVCスポーツ少年団

用土ジュニアバレーボールスポーツ少年団が、7月3日に吉見町民体育館で行われた、「第30回記念全日本小学生バレーボール大会埼玉県決勝大会（女子の部）」に出場しました。県内32チームが出場した大会の1回戦で、用土JVCチームは、強豪の八潮フラッパーズ（八潮市）と対戦し、セットカウント0-2で敗れてしまいました。

キャプテンの山本仁々華さん（用土小6年 用土2）は、「1回戦で負けてしまい、とても悔しかったです。これからもたくさん練習して、チームの仲間と協力し、次の大会へ向けてがんばりたいです。応援ありがとうございました」と話してくれました。



よりの夏まつり 市街地が熱気でつつまれました！



7月10日と11日に市街地通りで「よりの夏まつり」が開催されました。男性みこしが6基、女性みこしが3基、さらには子どもみこしが加わり、祭りを盛り上げました。

開催しました！ 人権擁護委員とふれあう会

7月8日にさいたま地方法務局熊谷支局と熊谷人権擁護委員協議会が主催する社会福祉施設特設相談「人権擁護委員とふれあう会」が社会福祉法人栄寿会「あきやま苑」の皆さんの協力のもと開催されました。

町の人権擁護委員が中心となり、歌やゲームで苑の皆さんとふれあい、楽しいひと時を過ごしたあと、心配ごとの相談なども受けました。

なお、人権擁護委員は毎月2回開催される「心配ごと相談」の相談担当者になっています。お気軽にご相談ください。



大盛況！ 第4回寄居エキナセア祭

7月17日・18日・19日と3日間にわたり、健康活性農場（渡辺秀之代表）主催の「第4回寄居エキナセア祭」が、秋山の中間平エキナセアほ場で開催されました。

県外からも多くの方にお越しいただき、新商品のティーバッグも大変ご好評をいただきました。

祭期間中の中間平は熱気と活気で大いににぎわいました。

